

3月29日(土)

1時30分～5時(1時開場)

場所：明治大学 駿河台キャンパス
グローバルフロント1階 多目的室

東京都千代田区神田駿河台 1-1 / TEL 03-3296-3452

■ JR 中央線・総武線、丸の内線/御茶ノ水駅 徒歩 3分

■ 千代田線/新御茶ノ水駅 徒歩 5分

■ 三田線・新宿線、半蔵門線/神保町駅 徒歩 5分

*資料代1,000円



忘れられた無差別爆撃： 検証・錦州爆撃

こうけつ あつし

講師：**纈纈 厚さん** (山口大学名誉教授/歴史学・政治学)

著書：『錦州爆撃—忘れられた無差別都市爆撃』(不二出版、2024年)

『ロシアのウクライナ侵略と日本の安全保障』(日本機関紙出版センター、2022年)

『戦争と弾圧——三・一五事件と特高課長・纈纈弥三の軌跡』(新日本出版社、2020年)

『重い扉の向こうに：歴史和解と戦前回帰の相克』(緑風出版、2020年) など



重慶、広島、そしてガザ空爆——現代にまで至る都市空爆の原点である世界初の無差別爆撃「錦州爆撃」。関東軍が強行した世界初の都市無差別爆撃である錦州爆撃は、その後の日本と世界の戦争の有り様に決定的な影響を与えた。

錦州爆撃は、満州事変勃発から3週間後の1931年10月8日、関東軍航空隊が張学良の本拠地・錦州に侵入し75発の爆弾を投下した。死者23名をはじめ、民間人に多大な被害を与えた。

ゲルニカ空爆より6年も早く実行された都市無差別爆撃でありながら、これまでほとんど着目されてこなかった錦州爆撃について光を当てる。

コメンテーター **石島 紀之さん** (フェリス学院大学名誉教授/歴史学)

著書：『中国民衆にとっての日中戦争：飢え、社会改革、ナショナリズム』(研文出版、2014年) 『重慶国民政府史の研究』(久保亨共著、東京大学出版会、2004年)



コメンテーター **伊香俊哉さん** (都留文科大学教授/歴史学)

著書：『アジア・太平洋戦争辞典』(吉田裕、森武磨、高岡裕之共編、吉川弘文館、2015年)、『重慶爆撃とは何だったのか もうひとつの日中戦争』(戦争と空爆問題研究会編 荒井信一、前田哲男、石島紀之、轟莉莉、一瀬敬一郎共著、高文研、2009年)

主催 NPO法人 都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会

2025.1.9

代表 伊香俊哉(都留文科大学教授)、前田哲男(軍事ジャーナリスト)、纈纈厚(山口大学名誉教授)
栗遠奎(重慶爆撃犠牲者遺族)、馬蘭(成都爆撃犠牲者遺族)、雷時仁(乐山爆撃犠牲者遺族)

共催 明治大学国際武器移転史研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565

E-mail: info@ichinoselaw.com Web サイト http://www.anti-bombing.net ブログ http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki

▼郵便振替口座 口座番号：00190-5-728232 口座名：NPO 法人重慶大爆撃を語り継ぐ会